

20周年
記念

Joy of Music



Piano Festival in 八ヶ岳

produced by: Etsko Tazaki
Piano Festival in 八ヶ岳 20周年記念コンサート
2022.11/6(日) 14:00開演(13:30開場)
会場: 東京文化会館小ホール

Joy of Musicシリーズ

第4回	Joy of Bartók	「子供のために」より 「14のバガテル」より ハンガリー農民歌にもとづく即興曲 組曲「戸外にて」全5曲
Part 1 piano solo		

Part 2 chamber music	ヴァイオリン・ソナタ第2番 2台のピアノと打楽器のためのソナタ
----------------------	------------------------------------

第3回	Joy of Schubert '22 6/5 SUN 満	ピアノ・ソナタ 第19番 ハ短調 D.958(遺作) ピアノ・ソナタ 第20番 イ長調 D.959(遺作) ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 D.960(遺作)
第2回	Joy of Brahms '21 11/14 SUN 満	7つの幻想曲 Op.116 3つの間奏曲 Op.117 6つの小品 Op.118 4つの小品 Op.119
第1回	Joy of Bach '21 6/6 SUN 満	バルティータ 第1番 変ロ長調 BWV825 バルティータ 第4番 ニ長調 BWV828 バルティータ 第6番 ホ短調 BWV830

協力:
「マキ通商株式会社

全席自由: 一般5,000円 学生3,000円

主催: Joy of
Music

問合せ・マネジメント・チケット取扱い: カメラータ・トウキョウ
03-5790-5560 www.camerata.co.jp

その他チケット取扱い
東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 www.t-bunka.jp

eplus.jp

Joy of Music とは



2002年春、山梨県の清里高原ハイランドホテルにおいて田崎悦子が立ち上げたピアノ合宿。

自然、音楽への謙虚な姿勢、国際性、豊かな心を持つという精神を貫く。その教えは「田崎マジック」と呼ばれ、生徒の演奏と聴衆の心を激変させる。現在、奈良に分校を持つ。

2022年11月6日には、その20周年記念コンサートを東京文化会館で開催予定。過去参加生の城所素雅、藤川天耀も田崎と共に演予定。

田崎 悅子 Etsko Tazaki

20世紀の大指揮者ゲオルグ・ショルティに認められ、シカゴ交響楽団とバルトークのピアノ協奏曲No.2で衝撃的なデビューを飾ったのは今や伝説となった田崎悦子。小学6年生より「子供のための音楽教室」に通い井口秋子氏にピアノを、斎藤秀雄氏に室内楽を学ぶ。1960年代に高校卒の少女が1人日本から国際的土俵の中心地ニューヨークに飛びピアニストとして研鑽を積み重ねた30年という歳月。マルボロ音楽祭ではパブロ・カザルス、ルドルフ・ゼルキンの薰陶を受ける。様々な葛藤の中で、常に自分の手で自身の道を開拓しながらヨーロッパ、アメリカ全土、日本でソロやオーケストラと共に演。世界的指揮者のサヴァリッシュとスイスロマンド交響楽団、スラットキンとセントルイス交響楽団、デプリーストとロッテルダム交響楽団、小澤征爾と新日フィル他、世界の名だたる巨匠たちが名を連ねる。アメリカ建国200年記念音楽祭では若きアメリカのホープとして選ばれ、ケネディーセンターでリサイタル、その折にはアメリカ人作曲家ジョージ・ロックバーグの「パルティータ・バリエーションズ」を世界初演する。その他、ルツェルン、マルボロ、アスペン、サイトウ・キネン、草津等の国際フェスティバルでも活躍。日本ではNHK交響楽団を始め多くのオーケストラと共に演。2006年から3年がかりでバッハから21世紀までのピアノ史を横断する前代未聞の企画「田崎悦子ピアノ大全集」6回シリーズ、2015年には「3大作曲家の遺言」3回シリーズでベートーヴェン、 Brahms、シューベルトの最期の作品の演奏、そのゆるぎない音楽性とヴァイタリティーは音楽界の金字塔となり、NHK-BSプレミアムで複数回放送された。2018年は、19世紀の同世代、ショパン、シューマン、リストという愛と葛藤あふれる3人の作曲家に自身を重ね田崎悦子のみが語れる人生の光と影を紡いだ2回シリーズを行う。大胆でドラマティック、同時に心を震えさせる繊細さを聴衆に訴え続ける田崎の音楽は年々深さを増し、一度聞くとその魂は奪われてしまうかのよう。現在、八ヶ岳山麓に居住。2002年ピアノ合宿“Joy of Music”を立ち上げ自然の中で若い世代に真の音楽のあり方を教示し、今年11月にはその20周年記念コンサートを東京文化会館で行う。アメリカ・ワシントン大学教授、東京音楽大学教授、桐朋学園および同大学院特任教授を歴任。



Percussion 柴原 誠 Makoto Shibahara
長崎県出身。東京音楽大学器楽専攻(打楽器)卒業。在学4年時、第22回日本管打楽器コンクール打楽器部門第1位。これまでに、菅原淳、岡田真理子、藤本隆文、久保昌一、関修一郎の各氏に師事。現在、新日本フィルハーモニー交響楽団打楽器奏者。東京音楽大学非常勤講師。



Percussion 大場 章裕 Akihiro Oba
福岡県出身。東京音楽大学を経て同大学大学院科目等履修生修了。第28回日本管打楽器コンクール パーカッション部門第1位。同コンクール審査員特別賞受賞。第10回イタリア国際打楽器コンクール・マリンバ部門第1位。第11回チェジュ国際金管打楽器コンクール最高位。2012年カワイ音楽振興会主催“Joy of Chamber Music Vol.5”では、元ウイン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・ティンパニスト、故ローランド・アルトマン氏、ピアニスト田崎悦子氏とバルトークの「二台ピアノと打楽器のためのソナタ」を共演。現在、映画やドラマ、アニメ、ゲーム音楽などのレコーディング、ミュージカル、オーケストラや吹奏楽、アーティストのバックでの演奏、CMやTV出演など多岐にわたり活躍している。



Violin 城所素雅 Soga Kidokoro
大阪国際音楽コンクールソロ・デュオ両部門、横浜国際音楽コンクール、日本クラシック音楽コンクール、かながわ音楽コンクール、鎌倉学生音楽コンクール等1位または最高位他数多くのコンクールに入賞。桐朋学園高校・大学の成績優秀者のためのコンサート全種類に出演。Joy of Chamber Musicシリーズにて田崎悦子氏、堤剛氏、新倉瞳氏と共に演。仙台フィルハーモニー管弦楽団等客演コンサートマスター、千葉交響楽団第2ヴァイオリンの客演首席を行う。東京春祭チャンバー・オーケストラに出演。加藤知子氏、堀正文氏に師事。桐朋学園大学院修士課程修了。Piano Festival in 八ヶ岳Joy of music室内楽講師。



Piano 藤川天耀 Takateru Fujikawa
2001年生まれ。5歳よりピアノを始める。これまでにピアノを大石ひとみ、小野弘晴、吉村真代の各氏に師事。Piano Festival in 八ヶ岳Joy of musicに2014年から毎年参加。2020年桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)卒業。学内Student's Concert、卒業演奏会出演。2018年全日本ジュニアクラシック音楽コンクール高校生部門第1位。2019年桐朋ビアノコンチャルトコンペティション第3位入賞。現在、チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院1年在学中。田崎悦子、Dmitry Lyudkovに師事。

DISCOGRAPHY

● 「3大作曲家の遺言シリーズ」

全4枚セット (レコード芸術特選盤)



- Vol1 ブラームスOP.117、ベートーヴェンOP.109、シューベルトD.958
- Vol2 ブラームスOP.118、ベートーヴェンOP.110、シューベルトD.959
- Vol3 ブラームスOP.119、ベートーヴェンOP.111、シューベルトD.960
- ショパン：ファンタジア（レコード芸術特選盤）
- ドビュッシー&リスト（レコード芸術準特選盤）

以上、若林工房より発売中 www.waka-kb.com

- バッハ : バルティータ第4番&第6番
- モーツァルト : ファンタジーK.475 in C Minor (レコード芸術特選盤)
- シューベルト : ピアノ・ソナタ第20番&即興曲D.935
- シューベルト : ピアノ・ソナタ第21番&即興曲D.899
- シューマン : 子供の情景&ダヴィッド同盟舞曲集
- フランク : 前奏曲、コラールとフーガ
- シューベルト : ピアノ・ソナタ第19番&楽興の時
- リスト : ピアノ・ソナタ/シューマン：クライスレリアーナ
- バッハ : バルティータ第6番
- シューベルト : ピアノ・ソナタ第17番 (コンサートライブ)

以上、カメラータ・トウキョウより発売中

WEB & FACEBOOK



「ピアニスト田崎悦子の世界」
www.etsko.jp



公式フェイスブックページ
「ピアニスト田崎悦子」

ピアニスト田崎悦子の活動をご報告しています。
是非ページのフォローをお願い致します。

